



## 平成22年産水稻の8月15日現在における作柄概況（島根県）

－作柄は「平年並み」の見込み－

### 【調査結果の概要】

- 1 島根県の平成22年産水稻の8月15日現在における作柄は、「平年並み」が見込まれます。作柄表示地帯別には、出雲、石見ともに「平年並み」が見込まれます。
- 2 穂数は、5月の低温と日照不足により初期生育が抑制されたことから「少ない」、1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が高温・多照に経過したことなどから「多い」と見込まれます。これらのことから、全もみ数は、「やや少ない」と見込まれます。登熟は、「やや良」が見込まれます。

### 作柄表示地帯別の作柄概況



この統計調査における調査の目的、利用上の注意などは、【調査の仕様】P4に掲載しています。

## 【解 説】

### 1 田植期

育苗期の低温と日照不足により苗の生育が遅れたことから、田植最盛期は5月17日となり、平年に比べて4日、前年に比べて5日遅くなりました。

### 2 田植後の生育

活着は、5月中旬から下旬にかけて、低温、日照不足で経過したことから生育の停滞が見られました。

6月から7月にかけては、高温・多照で経過したことから、遅れていた生育はやや回復したものの、生育初期の低温、日照不足による影響が大きく、茎数は少なくなりました。

### 3 出穂期

5月の低温、日照不足により生育は抑制されたものの、6月からは高温・多照で経過したことから、出穂最盛期は8月5日となり、平年に比べて1日遅くなったものの、前年に比べて2日早くなりました。

### 4 作柄状況

穂数は、生育初期の低温、日照不足により茎数が少なかったことから、「少ない」が見込まれます。

1穂当たりもみ数は、6月下旬から7月下旬の幼穂形成期が高温・多照で経過したことや穂数の減少に伴う補償作用などから、「多い」が見込まれます。

全もみ数は、穂数が少ないものの、1穂当たりもみ数が多いことから、「やや少ない」と見込まれます。

登熟は、7月以降が高温・多照で経過し、出穂期以降も高温・多照で推移しており、「やや良」が見込まれます。

以上のことから、8月15日現在における水稻の作柄は「平年並み」が見込まれます。

### 5 被害状況

病害は、いもち病や紋枯病の発生は平年並みで、一昨年多発した縞葉枯病は少なくなっています。虫害は、セジロウンカの発生が多くなっています。

## 【統計表】

### 1 平成22年産水稻の田植え及び出穂の状況（8月15日現在）

| 区<br>分 | 田 植 期  |             |        |        |     | 出 穂 期  |             |        |        |     | 出穂<br>済面<br>積割<br>合 | 対<br>平<br>年<br>差 |
|--------|--------|-------------|--------|--------|-----|--------|-------------|--------|--------|-----|---------------------|------------------|
|        | 始<br>期 | 最<br>盛<br>期 | 終<br>期 | 最盛期の比較 |     | 始<br>期 | 最<br>盛<br>期 | 終<br>期 | 最盛期の比較 |     |                     |                  |
|        |        |             |        | 対平年    | 対前年 |        |             |        | 対平年    | 対前年 |                     |                  |
| 島根県    | 5. 5   | 5. 17       | 5. 31  | 4日遅    | 5日遅 | 7. 25  | 8. 5        | …      | 1日遅    | 2日早 | 83                  | △ 6              |
| 出雲     | 5. 4   | 5. 18       | 5. 31  | 4日遅    | 5日遅 | 7. 25  | 8. 5        | …      | 並み     | 2日早 | 78                  | △ 9              |
| 石見     | 5. 5   | 5. 13       | 5. 29  | 3日遅    | 3日遅 | 7. 22  | 8. 2        | 8. 15  | 1日遅    | 2日早 | 95                  | 2                |

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植え及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。

2 「…」は、8月15日現在で出穂終期に達していないためです。

## 2 平成22年産水稻の作柄概況（8月15日現在）

| 区 分   | 作 柄 の<br>良 否 | 穂 数 の<br>多 少 |   | 1 穂 当 たり<br>も み 数 の 多 少 |   | 全 も み 数 の<br>多 少 |   | 登 熟 の 良 否 |
|-------|--------------|--------------|---|-------------------------|---|------------------|---|-----------|
|       |              | 多            | 少 | 多                       | 少 | 多                | 少 |           |
| 島 根 県 | 平年並み         | 少ない          |   | 多い                      |   | やや少ない            |   | やや良       |
| 出 雲   | 平年並み         | 少ない          |   | 多い                      |   | やや少ない            |   | やや良       |
| 石 見   | 平年並み         | 少ない          |   | 多い                      |   | 平年並み             |   | やや良       |

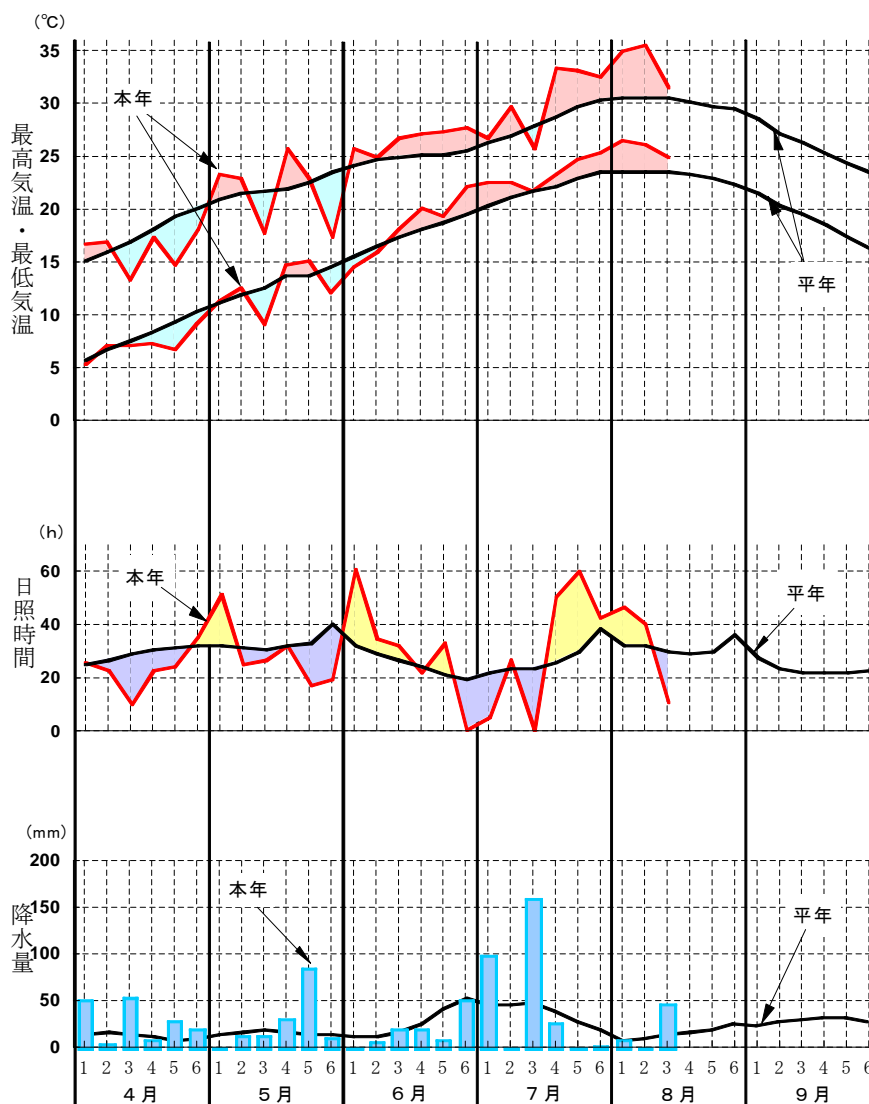
注：1 本表で用いた「作柄の良否」の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が102～105、「平年並み」が99～101、「やや不良」が95～98、「不良」が94以下です。

2 本表で「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が平年対比106%以上、「やや多い(やや良)」が同102～105%、「平年並み」が同99～101%、「やや少ない(やや不良)」が同95～98%、「少ない(不良)」が同94%以下です。

### 【関連するデータ、情報】

#### 1 稲作期間の気象図（半旬別）

観測地点：松江



資料：気象庁「アメダスデータ」により作成

## 2 水稻の年次別推移（島根県）

| 年 産  | 島      |                 | 根       |            | 県                   |  |
|------|--------|-----------------|---------|------------|---------------------|--|
|      | 作付面積   | 10 a 当たり<br>収 量 | 収 穫 量   | 作 況<br>指 数 | 10 a 当たり<br>平 年 収 量 |  |
| 平. 元 | ha     | kg              | t       |            | kg                  |  |
| 2    | 28,500 | 480             | 136,800 | 103        | 464                 |  |
| 3    | 28,100 | 495             | 139,100 | 106        | 466                 |  |
| 4    | 27,500 | 437             | 120,200 | 92         | 473                 |  |
| 5    | 28,200 | 482             | 135,900 | 102        | 473                 |  |
| 6    | 28,100 | 376             | 105,700 | 79         | 476                 |  |
| 7    | 28,800 | 535             | 154,100 | 112        | 476                 |  |
| 8    | 27,400 | 497             | 136,200 | 104        | 476                 |  |
| 9    | 24,900 | 513             | 127,700 | 108        | 476                 |  |
| 10   | 24,600 | 472             | 116,100 | 98         | 480                 |  |
| 11   | 22,500 | 486             | 109,400 | 101        | 480                 |  |
| 12   | 22,200 | 493             | 109,400 | 101        | 487                 |  |
| 13   | 22,100 | 515             | 113,800 | 104        | 495                 |  |
| 14   | 20,900 | 517             | 108,100 | 104        | 495                 |  |
| 15   | 20,500 | 514             | 105,400 | 103        | 500                 |  |
| 16   | 20,300 | 454             | 92,200  | 90         | 503                 |  |
| 17   | 20,800 | 492             | 102,300 | 97         | 505                 |  |
| 18   | 20,600 | 516             | 106,300 | 102        | 508                 |  |
| 19   | 20,200 | 488             | 98,600  | 96         | 508                 |  |
| 20   | 19,900 | 484             | 96,300  | 95         | 508                 |  |
| 21   | 19,400 | 511             | 99,100  | 100        | 509                 |  |
| 21   | 19,300 | 490             | 94,600  | 96         | 509                 |  |

### 【調査の仕様】

#### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稻調査の中の作柄概況調査として実施し、水稻の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としています。

#### 2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っています。

なお、島根県における作柄表示地帯の区分は、次のとおりです。

| 作柄表示地帯 | 市 町 村 名  |
|--------|--|
| 出 雲    | 松江市、出雲市、安来市、雲南市、東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町 |
| 石 見    | 浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町                 |

#### 3 調査客体数

作況標本筆：195筆 作況基準筆：8筆 巡回・見積り：21市町村

#### 4 調査期間

8月15日現在で水稻の生育・作柄概況を調査しました。

## 5 調査方法

調査は、作況標本筆及び基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行いました。

## 6 用語の解説

- 「穂数の多少」は、1 m<sup>2</sup>当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、「多い」、「やや多い」、「平年並み」、「やや少ない」、「少ない」の5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、「多い」、「やや多い」、「平年並み」、「やや少ない」、「少ない」の5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1 m<sup>2</sup>当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、「多い」、「やや多い」、「平年並み」、「やや少ない」、「少ない」の5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、「良」、「やや良」、「平年並み」、「やや不良」、「不良」の5段階で表しています。
- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1 m<sup>2</sup>当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。
- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。
- 10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

## 7 利用上の注意

- 本調査（8月15日現在）は、水稻の生育段階に応じて、計測可能な穂数やもみ数、登熟状況等の実測値を基に、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

### 問い合わせ先

中国四国農政局 島根農政事務所  
統計部 生産流通消費統計課  
電話 (0852) 24-7311 (代表) 内線330  
FAX (0852) 32-2630



農林水産統計は、中国四国農政局のホームページでご覧いただけます。  
ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/chushi/>